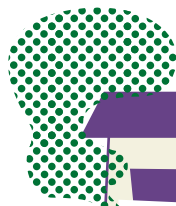




7月を迎え、二日連続怒濤の上映会ラッシュ！
足をお運び頂いた皆様、どうもありがとうございました。
今後、私たちならではの上映会を企画してまいりますので、
よろしく願います。



TAMA映画 フォーラム実行委員 告白の部屋

実行委員の生の声をお届けします。TCFってこんなところなんだあと、身近に感じていただければこれ幸い！
今回登場するのは会報で大活躍中の新メンバーです。

実行委員になったものの、放っておかれ…ではなくて個々の自主性に任された活動にとまどいを感じたこともあった。しかし、ここでは自分から動かなければ何も始まらないのだ。委員会に出席を重ね、上映会を手伝い、希望していた会報にも参加。やっとやりたいことが見えてきたような気がする。これから本祭に向けて頑張ります！(ポンタ)

上映会報告

「クルテク」上映会とチェコの絵本展

(2005年7月2日)

梅雨の晴れ間となった7月2日。「クルテク上映会とチェコの絵本展」は、親子連れを中心として、226人と多くの方にご来場頂きました。一番人気はやっぱり「クルテク」(もぐらくん)。会場内ではもぐらくんのユーモラスな動きに子供達が手を叩いたり、笑い声が起こることもしばしば。とても楽しそうな雰囲気でした。(ポンタ)



チェコアニメをもっと楽しみたい方へ

今回のミレル作品の上映にあたっては、配給元のレンコーボレーションさんにたいへんお世話になりました。そのレンコーボレーションさんが、渋谷にある事務所の1階カフェ、2階ショップを使って上映会イベントやチェコ語講座を定期的を開催しています。チェコのアニメや絵本に関心のある方は、いちど訪問してみてもいかが？ 詳細は下記ホームページで。
www.32.ocn.ne.jp/~rencom/

TAMA NEW WAVE 上映会

『甘い毒薬』～グランプリ監督

伊刀嘉紘特集～

(2005年7月3日)



12作品上映という長丁場の中、20～30代を中心に多くのお客様にご来場頂きました。前半の上映後は伊刀嘉紘監督(昨年TAMA NEW WAVEグランプリを受賞)がインスパイアされた監督達を招いてのトークセッション。富永昌敬監督、佐藤圭作監督、そして紅一点の横井真紀監督が着物で登場。ナレーションの挿入1つを取っても監督の個性が表れるという興味深い話も聞けました。後半は伊刀氏がリスペクトする瀬々敬久監督を迎えてのトーク。ジャンルの枠はあっても映画に境界線はないという瀬々氏の言葉が印象的でした。(ポンタ)

編集後記

大変ながらくお待たせしました。なんとか第6号発行です。言い出しっぺではあるものの、宇宙人企画には苦労しました。SFは奥が深すぎます。何万、何億もの星々に思いを馳せ……ていたら、なかなか現実に戻ってこれなくなりました。(下村綾子)

会報づくりもはや一年、いいかげん慣れるし効率もあがるだろうに、今回もやっぱりてんやわんやなわたしたちでした。なんでいつもこうなっちゃうのか不思議。(下川恵)



次回第7号は
9月下旬発行予定です。
どうぞお楽しみに！

